

KCJS NEWSLETTER



特集：岡山旅行

2013 年 10 月 11 日(金)～13 日(日)



キャロリン・ウィッテンイングハム
(エモリー大学)

マイルズ・ボスウェル

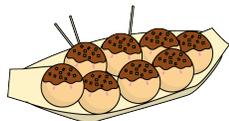
(ワシントン大学セントルイス)

僕は岡山で山本というお宅にお世話になりました。五人家族で子供はみんな男の子で賑やかで大きい家族です。色々素晴らしい思い出がありますが、ホースとマザーと Initial D というアニメの会話以外一番思い出に残ったことは直杜ちゃんと将棋をしたことです。初めて将棋をしたけれど、子供の時か

ら父とチェスをしたものですから、それもあって直杜ちゃんにもルールを教えて貰ったし、すぐに基本的なルールを覚えました。でも将棋のマニュアルはほとんど全部漢字だったので、駒の置ける位置を覚えなくてはいけませんでしたが、だから、何回もゲームで負けましたけど、毎ゲーム終わるともう一度したいと思いました。本当に難しいのに凄く面白いゲームです。それで週末の終わる

コーベット・ザリッカ (ボストン大学)

私は岡山で岡崎さんというお宅にお世話になりました。三日間たくさん楽しいことをしましたが、一番思い出に残ったことは蛸焼パーティーです。岡崎さんというお宅に両親とおじいさんと男の子4人と女の子が3人住んでいます。そして、他の家族と家族の友達がお宅の近くに住んでいますから、よく呼びました。だから、蛸焼パーティーをした時、たくさん人が集まりました。でも、たくさん人が来たといっても、込



み合いませんでした。実はハリーポッターのウィーズリーという家族みたいでした。すごく楽しい雰囲気だったからです。

蛸焼と蛸焼を作ることが好きで、友達と家族と蛸焼をするのは楽しいと思います。友達と家族と一緒にだったからこそ私は楽しむことができました。実は蛸を入れる蛸焼だけを料理しませんでした。パーティーの前にスーパーに買い物に行きました。そこでホストのお母さんは私に何の具が好きかと聞いてくれて、蝦と烏賊も買いました。そして子供はチーズがましがったから、蝦チーズ焼や烏賊チーズ焼やチーズだけでも食べました。どのコンビも美味しかったです。

だから、みんなさんも蛸焼パーティーに行ける機会があったら、行って下さい。

お知らせ

KCJS サマープログラム
専用ウェブサイト開設！



KCJS サマープログラムの特徴や
カリキュラムなど、情報が満載です。
ぜひご覧ください！

http://www.kcjs.jp/summer_programs/

2014 年から KCJS サマープログラム
中級日本語コースを
開設します！

申し込み締切：2014 年 1 月 31 日(金)

頃に、ついに勝ってしまって嬉しくなりました。これから、多分父とチェスをする時は将棋になると思います。皆さんも機会があったら、ぜひ将棋を試してみてください。



オーブリー・ハーパー (シカゴ大学)

私は岡山で村下さんというお宅にお世話になりました。岡山の家族はお母さんとお父さんとおばあさんとおじいさんと三人娘がいました。とても大きな家族だから、いつも楽しかったです。

それで今日は、倉敷市に観光したことについて話したいと思います。村下さんの家族は鴨方に住んでいますので倉敷市に近いのです。その前に倉敷市という町を知らなかったです。倉敷にはたくさん歴史的な場所と建物があります。観光の案内がありました。すぐ早く話されてよくわかりませんでした。色々な有名な白い壁の建物やアイビスクエアに行きました。最後の名所で私の好きな名所は小原美術館でした。それは日本の一番の西洋美術館で、この美術館は珍しい西洋の絵画があつてグレコの絵画までありました。現代絵画の展示会はとても面白くて、その展示会では日本の現代絵画と彫像を展示してありました。私の一番

好きな現代の絵画はメキシコはサム・フランシスによって描かれました。家族と一緒に展覧会を廻ったことは一番思い出に残ったことです。

ゴードン・ペティー (ウェズリアン大学)

僕の岡山旅行は楽しい経験だったといつても、時々大変でした。ホストファミリーと色々面白いことをしたけど、それだからこそすごく疲れてしまいました。

金曜日、岡山に着いたあとで、私たちはショアさんとホストファミリーに会いに行きました。着くと、ショアさんは「皆さん、自己紹介をしてください」とおっしゃいました。僕は授業でその丁寧な自己紹介を練習しました。でも、本番はホストファミリーと学生が大勢いたから、緊張しすぎて、どもりながら間違えてしまいました。たぶん、印象が悪かったと思います。

でも、緊張すべきではなかったです。土屋さんのお宅でのホームステイは本当に幸せ

ジェームズ・ヒルデブランド(アーモスト大学)



でした。お母さんは英語の先生だから、僕のわからない日本語を説明するのが上手でした。お父さんも親切な人でしたけど、よく早く話すから時々僕はわかりませんでした。

お母さんとお父さんは岡山を案内してくださいました。土曜日カプトガニの博物館に行きました。博物館でお母さんとよく話しましたから楽しい経験になりました。

特集：岡山旅行



クンティ・モラレス (ウェルズリー大学)

私は岡山で大室さんと言うお宅にお世話になりました。実は、旅行をする前に本当に心配していましたが、問題ありませんでした。今日は、運動会のことについて話したいと思います。岡山のホストファミリーはスポーツと運動が大好きです。息子さんは毎日サッカーをします。だから、家族で球技を見によく行きます。娘

さんは水泳が大好きだそうです。私の家ではスポーツをあんまり見ませんから、よく分かりませんが、面白かったです。日曜日に運動会に行きました。ホストファミリーの町の運動会だったから、あんまり大きくないと言われました。ホストファミリーは心配しましたが、アメリカには運動会のようなものがないから、本当に楽しみにしていました。新しい経験は面白くて、良いことだと思います。

おいしい朝ご飯を食べて、皆一緒に運動会に行きました。最初は行進をしました。ちょっとはずかしかったけど、短くて、皆一緒にして、楽しかったです。行進の後で、たくさんの町の大切な人の自己紹介があつて、皆自分のチームと座りました。アメリカには運動会がないけど、同じようなこと中学が校のときにあります。同じようなことと書いたけど、色々な違いがあります。アメリカの運動会はずっと五輪みたいで

運動会のイベントは楽しいですから、私の子供の時にも、こんなことをしたらよかったのに、残念だと思いました。お母さんとお父さんは一緒に二人三脚をして、すごく早くて、びっくりしました。その時に色々な写真を撮りました。ホストファミリーはうれしそうだったから、ちょっと寂しかったです。そんなことをあんまり家族と一緒にしたことがなかったからです。

本当に運動会は楽しくて、健康にいいことだから、アメリカでも運動会をしたら、大人も、皆もっと元気になるはずで。子供の健康は特に大切だけど、アメリカの子供は元気じゃないから心配です。私も運動をあんまりしなかったから、よく分かります。私の健康は悪くないけど、運動が大切だということが分かっていたのにあんまりしませんでした。

出身地のアメリカに帰った時にも運動会のようなことをした方がいいと思うから、やってみようと思っています。

リード・ヒルデブランド(ウェズリアン大学)

十月に私達は岡山に行きました。週末の岡山旅行は KCJS の慣例行事ですから、毎年 KCJS の留学生は岡山に行きます。岡山に着く前に、みんな岡山で何が待っているか分かりませんでした。京都でホストファミリーと住んでいますから、こわくなかったですが、岡山について何も知りませんでしたから、ちょっと緊張しました。僕は、岡山人に会った後で、岡山が大好きになりました。旅行の最初の活動は学校訪問でした。すぐに、たくさん違う事が見えました。習慣は違い、人も違い、特に日本語も違いました。でも、KCJS の留学生と岡山の学生はいっしょに活動を始めました。私は、かるたをしました。外国人はかるたをしたことがなかったから、岡山の学生は留学生にかるたのルールを教えてくださいました。すぐ、あまり違う事が見えませんでした。留学生たちと岡山学生は同じゲームをして、同じ冗談を言って、同じ話題についてしゃべって、同じ経験をしました。そこで、私達の共通点を見つけました。

今学期、日本では、このような経験はとてもよくあることです。私は岡山旅行で特別な事を教えられました。私は日本人に比べてたくさん違うことがあるけど、私達が人間として違うというわけではないのです。



ウィリアム・HB(コーネル大学)

岡山では山本という家族に三日間お世話になりました。岡山に行きましたが、岡山以外の場所にも行きました。ホストファミリーはいつも「どこがいいですか」と聞いてくれましたけど、岡山に住んでいませんから岡山らしい物が分かりませんでした。私の部屋はきれいで歴史的な物がたくさんありました。大きい仏壇と床の間の近く寝ました。床の間にすてきな床飾りがありました。青い鳥が飛翔している絵もありました。美しかったです。

ホストファミリーはすごく親切であることもさることながら、面白い家族でもありました。ファミリーの娘は反抗期です。毎日娘は両親と闘っていました。

土曜日に宮島に行きました。宮島はちょっと遠かったから、八時に起きました。車で広島に行って、電車で宮島に行きました。ドライブは三時間ぐらいかかりました。三時間ぐらいいDOLMASTERを聞いていました。船に乗る前に有名なレストランで、あなごめしを食べました。安くてものすごく美味しかったです。それから船で宮島に行きました。宮島で色々な寺と神社を見ました。厳島神社が一番有名ですが、私の一番好きなのは大聖院でした。弥山のもっと上に大聖院があります。大聖院は木の後ろ隠れています。大聖院は古代の寺ですから建坪は小さいけど3階ありました。それぞれの階は違いました。どの階にも仏教の置物がたくさんあります。厳島神社はとても賑やかでしたが、大聖院にはあまり人がいなかったから、落ち着いた雰囲気です。景色は素晴らしかったです。静寂できれいだと思いました。十時に帰りました。ホストファミリーと丸一日旅行することができました。

特集：岡山旅行



←恒例の岡山旅行。今年は新幹線を使っでの移動は初めてです。浅口と笠岡に向かって出発！

金光学園茶道部のメンバーがお茶の手ほどき



←金光学園書道部のメンバーと

浅口での楽しかった2泊3日→



理想とする食生活

デントン・ウィリアムズ(エモリー大学)

アメリカは、食料問題が多いので、ファーストフードと太っている人とで有名だ。私もアメリカ人なので、もちろん食べる時、気をつけなければいけない。

理想的な食生活は、肉やパンばかりでなく、たくさん新鮮な野菜や果物を食べ、水や牛乳や100%果汁ジュースを飲むことだ。その上、毎日三回食事をして、あまりお菓子を食わずに運動しなければいけない。

これが理想だと分かっているが、自分の食生活は違う。私はよくチキンや牛肉を食べ過ぎるし、青い野菜が大嫌いなのであまり野菜を食べない。それから毎日勉強しながらチョコレートやお菓子を食べてしまう。だが、果物は、よく色々なものを食べているし、毎日朝食も欠かさない。大学のクラスでよく考え、疲れないためには、朝食を食べることはすごく大切だと思う。最後に、あまりすすんで野菜や魚を食べないとはいえ、よく食べたことのない食べ物にチャレンジしているのはいいことだと思う。

私の食生活は、アメリカ的な食生活だと言える。基本は肉で、あまり新鮮な素材を食べないので、理想的な食生活と違う。しかしながら、私はこれから毎日頑張って食生活を変えようと思っている。日本に来てから、食べたことがなかった物をよく食べているし、新鮮な物やおいしい物をよく食べられてよかった。家族のおかげで生まれつき健康なので、これからは食生活に気をつけて、健康を維持したいと思う。

ある一日

アリカン・ドア(ペンシルベニア大学)

私は美術館を見ることが大好きだから、10月4日に、京都国立近代美術館へ行ってみました。京都国立近代美術館は私の家から自車で20分ぐらいですからとても便利です。私は、瞑想に興味があって、瞑想のレッスンを京都国立近代美術館の近くで受けているので、美術館を見つけることは難しくなかったです。

京都国立近代美術館があるエリアに行った時、家の近くにあのような美しい所があることにとてもびっくりしました。芸術的な人がたくさんいて、京都の他のエリアと違うと思いました。京都で新しい文化を見ることができて嬉しかったです。

その日の天気はとてもすばらしかったから、私は外で長い時間を過ごしました。そして、京都国立近代美術館の展覧会を見る代わりに自車でその近くを散策しました。一時間ぐらい散策した後でカフェクベというジャズバーに行きました。そのバーで同志社大学で勉強している大学生と会って友達になりました。とてもいい音楽を聞きながらそのジャズバーの雰囲気を楽しみました。

そのエリアには、小さい服飾店がたくさんあります。私はジャズバーの後で一つの店に買い物に行きました。デザイナーブランドの服がたくさんありましたが、高すぎて、買えませんでした。ウィンドウショッピングだけでしたが、本当に良い時間を過ごせました。

家に帰る途中でカルラという店に入りました。その店は高くなかったから、買い物ことができました。店主が私がおしゃれだと言ってくれたので、私たちはファッションについて話しました。話の後で店主は、私に10月25日と26日にある「岡崎ときあかり」のイベントのパンフレットをくれました。イベントの写真がきれいに見えたから、私は本当に行きたいと思いました！

なぞなぞ

キム・ハミン(ウエズリアン大学)

ローラのお父さんはローラに何が好きかと聞いてみました。ローラは以下のメッセージで答えました。さて、ローラは何と答えたのでしょうか。
ヒントはハートです。

あ
れ
は
お
父
さ
ん

は
か
せ
も
は
し
る



好きやねん！ 関西弁：ポケッツコミ会話

ロ德里ック・カーティス(コルビー大学)

A: このスーパー、ほんまに安いな。

B: そうやな。バナナが半額やから、3ヶ月分、買っとこ。

A: お前はゴリラか！

キャロリン・ウィッティングハム(エモリー大学)

A: 昨日、ジャマイカについての番組を見て、行きたくなつたわ。

B: 私も行きたいわ〜。ずっとジャマイカでスキーしたかつてん。

A: せやなー、ジャマイカは一年中雪が降るし、すごく寒い...つてなんでやねん！ アラスカちゃうわ！



ジェームス・ヒルデブランド(アーモスト大学)

A: 四倉先生のうちは素敵やろうな〜。

B: せやなー。冷たいはずやけどなー。

A: え、なんで？

B: 「四倉(よつくら)」だけに、よつつ、クーラーあるんちゃうの？

A: そんなわけないやろ！

サナ・アリヴィラニ(スワスモア大学)

A 子: なあなあ、このお菓子見て。忍者の形してるで。かつこええな。

B 男: そのお菓子、おかしいで。

A 子: 出た！ 近所のおっさんかと思った。こういう時は、「買ってあげようか」って言うべきやろ？

B 男: そっか。わかった、わかった。俺に似てるから、買ってほしいねんなー。

A 子: せやな、会えへん時にお菓子とチューしたり、まぐらのそばに置いたりできるし...つてそんなわけないやろ！ 全然わかってへんな。

クリスマス

ロ德里ック・カーティス(コルビー大学)

私にとって、日本人がクリスマスを祝うことはとても不思議に思える。クリスマスは元々 基督教の信者が、神の子のキリストの生誕を祝う行事だ。しかし、日本ではキリスト教に全く関係のない日本人が、12 月になるとクリスマスの準備をしている。変だと思わずにクリスマスケーキを買ったり、クリスマスパーティーをする日本人は多い。しかし、逆に、アメリカの人々がお盆を祝い始めたら、日本人はそれは変わっていると思うことだろう。なぜ日本人はクリスマスを祝うのだろうか。

アメリカには、基督教の信者であるためにクリスマスを大切に祝う人が多い。クリスマスには、家族で教会のミサに行き、キリストの生誕を祝う。しかし、信者ではない人々もクリスマスにかかわっている。なぜなら、最近のクリスマスは宗教に関係なく、家族が友人と集まって、楽しく過ごすことが最大の目的となっているからだ。そういった意味で、クリスマスはすでにアメリカの文化の一部となっている。

ほとんどの日本人において、クリスマスは宗教的な行事ではない。しかし、アメリカのように、クリスマスは家族みんなと集まってプレゼントを交換したり、おいしいケーキを食べたりする楽しい行事だと考える人が多いのではないだろうか。日本のクリスマスに宗教的な理由がなくても、家族と一緒に楽しめることが、最も大切だと思う。日本人は人にお土産を買う行為が好きなので、クリスマスプレゼントの交換は日本の文化に合っていると思う。日本人がなぜクリスマスを祝うかは不思議だが、クリスマスはすでに日本文化の一部になっているかもしれない。

私は、今年のクリスマスは、ラジオから流れるクリスマスソングを聴きながら、クリスマスツリーを飾ったり、プレゼントを用意して、家族と一緒に過ごす。この特別な日本のクリスマスが楽しみだ。



なぞなぞの答え

答え: おめかし

説明: ハートを平仮名に変えると「はあと」です。「はあと」の「あと」を漢字に変えると「は後」になります。これは、「は」の後の仮名だけ読むようにという指示です。その指示に従って読むと、「おかし」になります。では、ローラが好きなのは「おかし」でしょうか。いいえ！このなぞなぞは、もっと難しいです！「父」という漢字を詳しく見ると、片仮名の「ハ」がありますね。片仮名の「メ」もあります。従って、正解は「おかし」ではなく、「おめかし」です。納得！？

日本と自分の国とで違うこと

キム・ハミン (ウェズリアン大学)

アメリカと日本を比較して一番目立つ違いは教育だ。日本では大学受験の前は、一生懸命勉強しているようだ。しかし、大学に入ってから、学生達は勉強に力を入れないようだ。だからしたり、遊んでばかりいても良いと言われていた。逆にアメリカでは若い時から熱心に勉強をしなければならないし、大学に入学してからも勉強しなければならない。なぜ日本では大学に入学した後では勉強をしないのだろうか。

或る友達がこう言った。「日本で大学に行くのは、卒業してから仕事を見つける時、履歴書にどの大学を出たかを書く為だけだ」

日本ではなぜ、勉強が就職にだけ関わっているのだろうか。生徒はいい大学に入る為だけに勉強してきたみたいだ。大学に入った後には履歴書に書く大学の名前がもう決まっているので、勉強をしない。つまり、大学の名前で自分の未来が決まってるということだ。勿論、人によって違うが、一般論としては正しいと言えそうだ。勉強というのは興味を持って、したくてするべきことだが、残念に殆どの日本の学生達はそう考えていないらしい。

ブリアナ・フリーマン (プリンストン大学)

「一緒にカラオケ行かない？」という表現は日本では友達と話す時にめずらしくないですが、アメリカではあまり言われません。日本のカラオケのイメージとアメリカのカラオケのイメージは、別の遊びと言えるほど違うのです。日本人はカラオケが大好きだとみえて、日本にはカラオケの店が多いです。そこで、部屋を借りて、他の人と一緒に歌ったり、お酒を飲んだりすることが出来ます。特別な店でカラオケが出来るだけでなく、社員旅行などでも会社員はよく、バスのマイクで歌っています。つまり、日本でカラオケは友達やどおりょうなど、よく知っている人と一緒にひかひかの私的なところでよくされています。

日本と違って、アメリカでカラオケはあまり人気がありませんから、店が少ないです。一般にバーで皆の前でちょっとよっぽらっている人がするものです。アメリカにもビデオゲームのような私的なカラオケがあることはありますが、あまり人気がないし、特別なゲームシステムがいりませんから、一般的じゃないのではないのでしょうか。日本でカラオケは人間関係にとって大切なアクティビティですが、アメリカではそんな意味はないと言えるでしょう。ただ、日本のカラオケとアメリカのカラオケは大切な同じ点が少なくとも一つはあると思います。それはカラオケの目的の一つは楽しみだということです。

学生賞 中間発表

学生による中間投票の結果、以下の人たちが現時点で1位から3位に選ばれています！

- ①日本語をよく使っているで賞
- 1位 バネッサ・テナザスさん (ジョージ・ワシントン大学)
 - 2位 ブリアナ・フリーマンさん (プリンストン大学)
 - 3位 マット・アルブレクトさん (ノースウェスタン大学)

- ②日本の社会によくとけ込んでいるで賞
- 1位 サナ・アリビラニさん (スワスマア大学)
 - 2位 ショウ・リュウさん (ブランダイス大学)
 - 3位 バネッサ・テナザスさん (ジョージ・ワシントン大学)

学期末の本投票で選ばれた人には、賞金が出ます。



ブリアナ・フリーマン (プリンストン大学)



ミンテン・オーヤン (ジョージア大学)

「高瀬舟」を読んで

ジェームズ・ヒルデブランド(アマースト大学)



僕には弟がいる。したがって、兄弟関係の話を読むと、必ず感動する。「高瀬舟」を読んでいた時に、何度も弟について考えた。

僕は金沢にいた時に、日本語のクラスで「安楽死」という随筆を読んだ。その中に、「高瀬舟」の弟の自殺未遂と兄である主人公・喜助の行為が出てきた。その随筆の筆者によると、それはなぜ安楽死は大切かということをよく説明できる例だそう。僕もそう思うが、随筆の「高瀬舟」の説明はそんなに詳しくなかったため、その安楽死の場面がはっきり想像できなかった。

しかし、自ら「高瀬舟」を読んで、その場面の非常に可哀想な細部に感動した。以前は安楽死は悲しいが、必要な場合もあると思っていた。しかし、悲しいというより、自分の心をつぶすことなのだと思うようになった。喜助は小さい時からずっと弟とともに頑張っていたが、結局、弟、いわば人生で最も大切な人を殺した。その心の痛みや苦しみは、想像できないのである。

実は、なぜ喜助がまだ我慢できるか全然理解できない。弟に頼まれたからといって、安楽死をさせたらすぐに憂鬱になるのではないだろうか。僕は「兄弟あつての人生」という考えを持っているから、喜助と同じように弟から離れることは人生最悪のものの一つだと思う。

喜助は、自分の人生はこれからよくなるだろうと言っていた。しかし、今までの苦しみや悲しみは、幽霊のように喜助のそばにはいるのではないのだろうか。

私のアイデンティティ・クライシス

キャロリン・ウィッティングハム(エモリー大学)

子供の頃から、私は出身のジャマイカで不快感を感じている。普通のジャマイカ人と比べて、私の考え方は非常に異なると思うので、元々、最初の気持ちは「ジャマイカは狭すぎる」であった。その気持ち以外にも、ジャマイカは犯罪が多いので、ジャマイカにいた時、全く安全と感じられなかった。その二つの理由から、私はジャマイカを出た方がいいと思い、高校進学のためにアメリカのボストンに行った。

しかし、すぐにアメリカ人があまり好きではなくなり、ボストンの生活はつまらなくなった。それで、次に出てきた考えは、「ジャマイカでもアメリカでも不快感があるなら、どこがいい？」であった。ゆえに、楽に生活できる場所を見つけるために、15歳の頃から毎年夏になると他の国に一人で旅行していた。例えば、アラスカ(アメリカだがエキゾチックだと思う)、フランスのパリやニース、カンヌ、イタリア、ドイツ、スイス、韓国、色々なカリブ海の島国、日本などである。

これらの旅行は面白くて大変楽しかったが、満足できなかった。いつも短期間しかその場所に住まなかったため、まじめに生きられなかった。そして、一時的な友達しかいなかったから、本当に強い人間関係が作れなかった。

したがって、世界中を旅行したおかげで、私はもっと自立し、色々な外国語を学ぶといういい経験ができたものの、この世界中の旅行のせいで、悪いこともあった。例えば、時々他の国で色々な人種差別に関係がある問題が起きたこともあった。ゆえに、その色々な国々でも同じ不快感があった。

結果として、私の実際の問題はまだアイデンティティ・クライシスである。私はアイデンティティが全くわからないから、私自身についての質問が数多くある。例えば、「私の心の中には色々な国の習慣がある。本当の私は誰?」「私は本当にジャマイカ人?」などである。今はまだその答えがわからない。私はいつもその問いの答えを探している。

KCJS25 春学期(2014年)の予定

- 1/14(火) 授業開始
- 2/9(日)~10(月) 春の旅行(東京)
- 3/1(土)~3/9(日) 春休み
- 4/18(金) 授業最終日
- 4/21(月) 日本語期末試験
- 4/22(火)~24(木) 選択コース期末試験
- 4/25(金) 修了式



アリカン・ドア(ペンシルバニア大学)

秋学期の主な行事

9月28日（土） ホストファミリーと学生『日本の農業に触れる1日』 於 京丹波町

青空の下でサツマイモや丹波黒豆、万願寺唐がらしなどを収穫し、とりたての野菜でご飯を作りました。



▲丹波食彩の工房前にて



▲ サツマイモの収穫風景

▼ 新米でオニギリを初めて作る



10月4日（金）同志社大学政策学部との交流会 於 アマーストゲストハウス

キャロリン・ウィッティングハムさん(エモリー大学)と、政策学部の城彩花さんの司会進行で、政策学部の学生さんとの交流会を開催しました。食後は、芝生の上で、ウィッティングハムさんが考えてくれたゲームで盛り上がりました。



◀ オニギリを食べながらおしゃべり



芝生の上で ▶ ゲーム中



◀ 司会進行役のお二人

10月14日に、同志社大学の政策学部と KCJS の交流会がありました。そこで、私は KCJS を代表して、政策学部の城彩花さんと司会をしました。司会の仕事は、この日の活動を説明したり、自己紹介ゲームをしたりすることです。実は、私は全部日本語で説明しなくていけなかったもので、とても緊張していました。でも、振り返ると、本当にいい経験でした。たくさん間違いましたが、間違いがなければ、全然習えません。だから、交流会に参加するのは楽しくて、日本語の勉強のために、非常によかったです。

秋学期の主な行事

10月11日（金）～13日（日）恒例の岡山旅行

本号の「特集:岡山旅行」(1～3ページ)をご覧ください。

10月16日（水）KCJS 説明会 於 同志社政策学部

政策学部の学生に KCJS の学生との交流の機会、また加盟校への留学のチャンスについて広く知ってもらうため、KCJS 代表として9人の学生が政策学部に出向き日本語で説明会を行いました。

Anna Andriychuk (University of Chicago)
 Roderic Curtis (Colby College)
 James Hildebrand (Amherst College)
 Mingtian Ouyang (University of Virginia)
 Alexa VanDemark (Emory University)

Miles Bothwell (Washington Univ. in St. Louis)
 Hadley Hauser (University of Chicago)
 Ha Min Kim (Wesleyan University)
 James Mellody (University of Pennsylvania)



来学期も楽しい行事が目白押しです！



KYOTO CONSORTIUM
FOR JAPANESE STUDIES
京都アメリカ大学コンソーシアム

通年／学期プログラム ウェブサイト：<http://www.kcjs.jp/>

サマープログラム ウェブサイト：http://www.kcjs.jp/summer_programs/